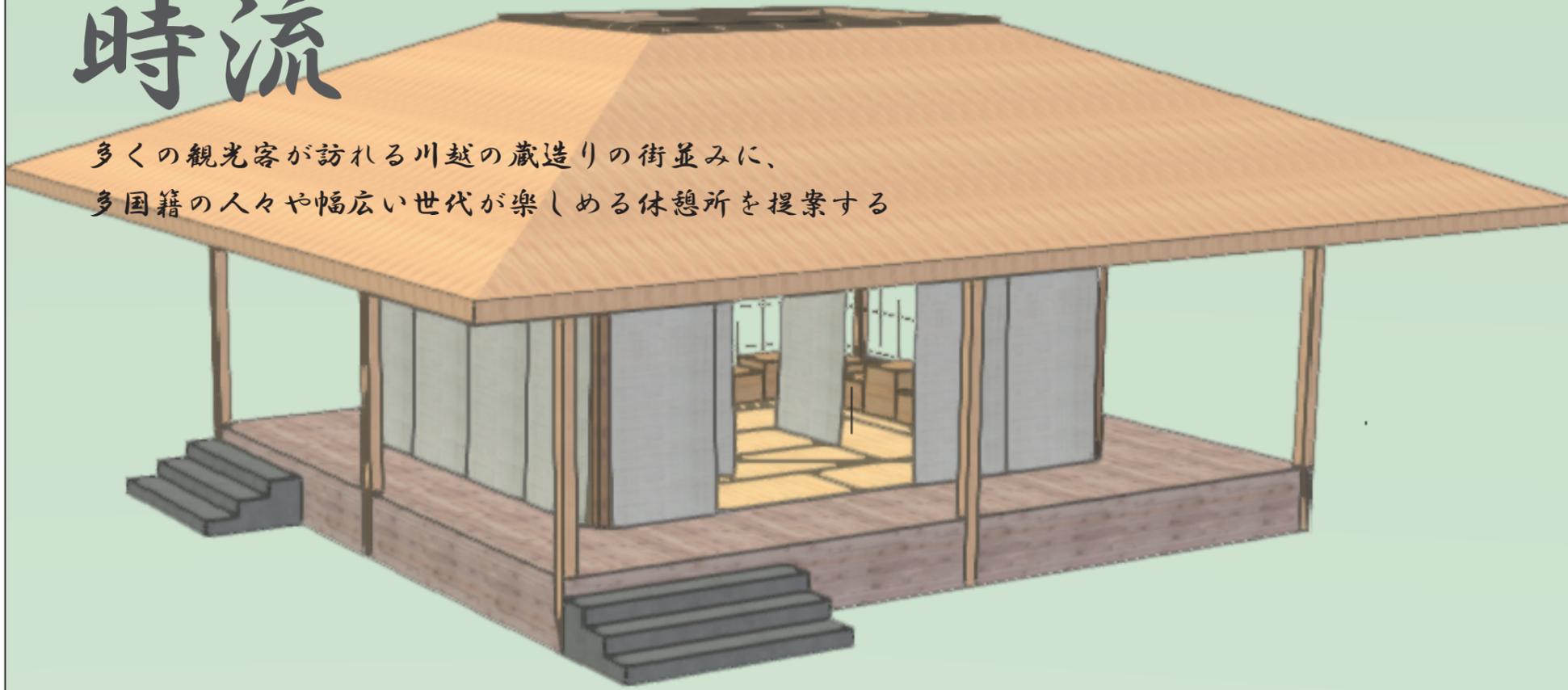


じりゅう 時流

多くの観光客が訪れる川越の蔵造りの街並みに、
多国籍の人々や幅広い世代が楽しめる休憩所を提案する



構想～ concept ～

日本の空間設計には、「間」や「余白」という独自の概念が根付いており、それによって生まれる曖昧な空間が特徴である。この曖昧さは、風や光を取り込み、時間や季節の移ろいを感じさせる重要な要素となる。本コンセプトでは、日本特有の空間性を大切にしながら、「曖昧」と「開放」という一見相反する要素を調和させ心地よい空間を創出することを目指す。

題名～ title ～

風が通り抜け、光が柔らかく揺らぐ空間は、時間の経過によって表情を変え、その場にいる人々の感覚を研ぎ澄まします。時と共に移ろい、風や光と共に変化する空間。その中で人々が自然と集い、くつろぎ、また新たな流れを生み出していく。そんな「時流」の中に身を置き、心地よい曖昧さと開放感を感じられる場を提供します。

敷地～ site ～

